



2021年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2020年8月6日

上場会社名 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2296 URL <https://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室IRチームマネージャー (氏名) 内山 健氏

TEL 03-5723-6885

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	204,992	△2.8	5,028	5.4	5,516	5.6	3,657	5.4
2020年3月期第1四半期	210,964	1.1	4,772	30.6	5,225	26.7	3,471	9.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,441百万円 (△4.1%) 2020年3月期第1四半期 2,545百万円 (△22.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	12.42	12.41
2020年3月期第1四半期	11.75	11.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	389,845	226,595	57.8
2020年3月期	389,426	229,178	58.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 225,187百万円 2020年3月期 227,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	420,000	△2.9	8,500	△9.3	8,700	△15.5	7,000	1.0	23.76
通期	830,000	△2.6	15,000	△13.1	16,000	△18.1	12,000	4.9	40.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	297,355,059 株	2020年3月期	297,355,059 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,794,563 株	2020年3月期	2,794,446 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	294,560,600 株	2020年3月期1Q	295,388,672 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、決算発表後、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況となっております。先行きについては、経済活動は徐々に再開しているものの、感染症の収束時期が見通せない中、不透明な状況が続くと見込まれます。

当業界におきましては、外出自粛等による外食向けの業務用商品の販売減少や感染症への警戒感による消費活動の抑制等の影響が大きく、巣ごもり消費の需要が拡大する中においても、厳しい事業環境が続いております。

当社グループにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大によって国民生活や経済活動に甚大な影響が及んでいる状況下においても、国民の生活インフラを支える食品メーカーとしての供給責任を果たすべく、使命感を持って事業活動を続けております。また、感染症等への対応マニュアルを整備し、危機管理委員会を中心に従業員の安全確保や事業継続に向けた対策等を講じております。このような状況の中、当社グループは「私たちは事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献します」をグループ理念に、また「フェアスピリットと変革への挑戦を大切にし、従業員とともに持続的に成長する食品リーディングカンパニー」をビジョンとし、チャレンジ精神を持って「中期経営計画2020」に掲げた施策等を遂行しております。そして伊藤ハム、米久がそれぞれ独自のブランド力を堅持し、安全・安心で高品質な商品とお客様にご満足いただけるサービスを提供し続け、コンプライアンスを最優先した上で、グループ一丸となってさらなる企業価値の向上を目指して取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前年同四半期に比べて5,972百万円減少し、204,992百万円（前年同四半期比2.8%減）となりましたが、営業利益は、前年同四半期に比べて256百万円増加し、5,028百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。また、経常利益は、前年同四半期に比べて290百万円増加し、5,516百万円（前年同四半期比5.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べて186百万円増加し、3,657百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

<加工食品事業>

加工食品事業全般において、外出自粛等の影響により業務用商品の販売が減少する一方、巣ごもり消費の需要拡大によって家庭用商品の販売が増加しました。

ハム・ソーセージについては、テレビコマーシャルの投入や消費者キャンペーンの実施により、「The GRAND アルトバイエルン」「朝のフレッシュシリーズ」「ポークピッツ」「御殿場高原あらびきポーク」「原形ベーコンシリーズ」等の主力商品の拡販に努めた結果、売上高は増加しました。

調理加工食品については、「ラ・ピッツァ」「ピザガーデン」などのピザ類が堅調に推移したことに加え、「サラダチキン」「レンジでごちそうシリーズ」「旨包ボリュームリッチハンバーグ」等の消費者の簡便志向・健康志向に対応した商品が伸長したことから、販売数量、売上高ともに増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の加工食品事業の売上高は、前年同四半期に比べて2,825百万円増加し、73,488百万円（前年同四半期比4.0%増）となり、営業利益は、前年同四半期に比べて847百万円増加し、2,737百万円（前年同四半期比44.9%増）となりました。

<食肉事業>

食肉事業全般において、新型コロナウイルス感染症の拡大による外食産業や百貨店向けの販売減少の影響が大きく、スーパー等の量販店向けの販売は増加したものの、厳しい事業環境となりました。

国内事業については、新規取引先の獲得や国内生産者との連携強化とともに、オリジナルブランド等の付加価値の高い商品の拡販に努めましたが、厳しい事業環境の中、販売数量、売上高ともに減少しました。牛肉は、感染症拡大による海外調達先の稼働率低下の影響に加え、国産・輸入ともに焼肉店などの外食産業の需要の減退が響き、売上高は減少しましたが、国産牛肉の調達コストが下がったことから、利益は前年を上回りました。豚肉は、海外調達先の稼働率低下の影響を受けて輸入豚肉のオリジナルブランドの販売が減少したものの、国産豚肉のスーパー等の量販店向けの販売が増加したことから、売上高は増加し、利益も前年を上回りました。鶏肉は、国産鶏肉の「大地のハープ鶏」の積極展開等に努めましたが、輸入鶏肉が外食産業の需要の減退の影響を大きく受けたことから、売上高は減少し、利益も前年を下回りました。

海外事業については、アンズコフーズ社は、引き続き生産の最適化を図りましたが、厳しい調達及び販売環境が

続く中、売上高は減少し、利益も前年を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の食肉事業の売上高は、海外事業の売上高の円貨換算の影響も加わり、前年同四半期に比べて8,742百万円減少し、130,508百万円（前年同四半期比6.3%減）となり、営業利益は、前年同四半期に比べて392百万円減少し、2,806百万円（前年同四半期比12.3%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて419百万円増加し、389,845百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加と現金及び預金の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて3,003百万円増加し、163,250百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて2,583百万円減少し、226,595百万円となりました。これは主に、配当金の支払に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響により、外食向けの業務用商品の販売が減少した一方、巣ごもり消費の需要の拡大が予想を上回って推移していることから、2020年5月8日に公表した数値を以下のとおり修正します。

通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は予断を許さない状況が続いており、最近の各地域における再度の感染拡大に伴う経済活動の回復遅れ等が懸念され、先行きが不透明であることから、前回発表の予想を据え置くこととします。

2021年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正

	売 上 高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	415,000	6,300	6,800	6,000	20.37
今回修正予想(B)	420,000	8,500	8,700	7,000	23.76
増減額(B-A)	5,000	2,200	1,900	1,000	
増減率(%)	1.2	34.9	27.9	16.7	
(参考)前期第2四半期連結 累計期間実績 (2020年3月期 第2四半期)	432,400	9,371	10,296	6,927	23.45

2021年3月期 通期連結業績予想数値（2020年5月8日に公表した数値からの変更なし）

	売 上 高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
業績予想数値	830,000	15,000	16,000	12,000	40.74
(参考)前期連結実績 (2020年3月期 通期)	852,450	17,266	19,534	11,439	38.72

（注）上記の予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,072	37,497
受取手形及び売掛金	87,902	87,421
商品及び製品	70,648	72,919
仕掛品	1,757	1,786
原材料及び貯蔵品	17,837	21,183
その他	6,293	9,464
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	226,498	230,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	37,175	35,796
機械装置及び運搬具（純額）	30,305	29,165
工具、器具及び備品（純額）	1,508	1,450
土地	25,830	25,260
リース資産（純額）	2,799	2,719
その他（純額）	1,141	922
有形固定資産合計	98,760	95,314
無形固定資産		
のれん	21,057	20,661
その他	1,626	1,766
無形固定資産合計	22,684	22,427
投資その他の資産		
投資有価証券	25,822	26,148
退職給付に係る資産	9,378	9,689
その他	6,408	6,130
貸倒引当金	△126	△121
投資その他の資産合計	41,482	41,845
固定資産合計	162,927	159,587
資産合計	389,426	389,845

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,574	62,733
電子記録債務	1,748	1,616
短期借入金	28,880	26,380
1年内返済予定の長期借入金	10,179	10,170
未払法人税等	1,707	539
賞与引当金	5,280	1,535
役員賞与引当金	120	29
災害損失引当金	544	488
その他	28,069	36,916
流動負債合計	138,106	140,410
固定負債		
長期借入金	10,872	10,833
退職給付に係る負債	2,208	2,188
資産除去債務	1,461	1,455
その他	7,598	8,363
固定負債合計	22,140	22,840
負債合計	160,247	163,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,003	30,003
資本剰余金	96,267	96,266
利益剰余金	101,792	100,442
自己株式	△2,293	△2,293
株主資本合計	225,770	224,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,823	5,171
繰延ヘッジ損益	△355	△496
為替換算調整勘定	△3,767	△5,260
退職給付に係る調整累計額	1,301	1,354
その他の包括利益累計額合計	2,002	769
新株予約権	131	131
非支配株主持分	1,275	1,275
純資産合計	229,178	226,595
負債純資産合計	389,426	389,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	210,964	204,992
売上原価	178,826	172,825
売上総利益	32,138	32,166
販売費及び一般管理費	27,366	27,137
営業利益	4,772	5,028
営業外収益		
受取利息	30	18
受取配当金	127	134
受取賃貸料	108	104
持分法による投資利益	142	242
その他	323	248
営業外収益合計	732	748
営業外費用		
支払利息	219	141
不動産賃貸費用	32	31
その他	27	87
営業外費用合計	279	260
経常利益	5,225	5,516
特別利益		
固定資産売却益	38	8
投資有価証券売却益	4	2
受取保険金	84	-
その他	13	-
特別利益合計	140	11
特別損失		
固定資産除却損	65	48
その他	8	9
特別損失合計	74	58
税金等調整前四半期純利益	5,291	5,468
法人税、住民税及び事業税	464	355
法人税等調整額	1,318	1,404
法人税等合計	1,783	1,760
四半期純利益	3,508	3,708
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,471	3,657

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,508	3,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,128	349
繰延ヘッジ損益	11	△141
為替換算調整勘定	250	△1,505
退職給付に係る調整額	144	48
持分法適用会社に対する持分相当額	△241	△17
その他の包括利益合計	△963	△1,266
四半期包括利益	2,545	2,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,504	2,424
非支配株主に係る四半期包括利益	40	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	70,663	139,250	209,913	1,050	210,964	—	210,964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,247	7,152	8,400	6,523	14,923	△14,923	—
計	71,910	146,403	218,314	7,574	225,888	△14,923	210,964
セグメント利益	1,889	3,199	5,088	33	5,122	△350	4,772

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△347百万円等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	73,488	130,508	203,996	995	204,992	—	204,992
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,105	6,961	8,067	7,084	15,152	△ 15,152	—
計	74,593	137,469	212,063	8,080	220,144	△ 15,152	204,992
セグメント利益又は 損失(△)	2,737	2,806	5,544	△ 14	5,529	△ 500	5,028

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主な内容は、のれんの償却額△347百万円等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。